



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 657人
 コメディカル 513人
 医師 144人
 管理栄養士紹介登録数 40人

《目次》

「初秋の京都で日本糖尿病教育・看護学会
 (第11回学術集会)に参加して」和田 幹子 ..Page1, 2
 研修会等の実施報告.....Page2
 研修会等の開催情報.....Page3
 研究会お知らせ、スケジュール・事務局よりお知らせ...Page4

「初秋の京都で日本糖尿病教育・看護学会（第11回学術集会）に参加して」

当研究会会員 日本看護協会 和田 幹子

秋晴れの週末 (9/16・17), 京都で行われた「日本糖尿病教育・看護学会 第11回学術集会」に参加しました。テーマが「質と安全確保の時代に求められる糖尿病教育・看護」という時勢を反映した興味深いものだったせいか、学術集会へはこれまでで最多の2,400名が参加し、大変盛況でした。NPO法人西東京臨床糖尿病研究会会員の方の実践的な発表も年々増え、活動の広がりを感じた2日間でした。



会長講演では、昨年の西東京糖尿病療養指導プログラム（教育看護系1群研修会）の特別講演にお招きした嶋森好子氏（京都大学医学部附属病院）が、「医療の質と安全は全ての医療者と国民の願い」であることを力強く述べられ、私たち糖尿病患者に関わる医療者が幅広い知識と情報を活用して患者の安全確保に貢献することが求められていることを痛感しました。せっかく知識や情報をたくさん持っていても、活用されなければ意味がありません。そこで、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会の症例検討会等でも、これらのテーマをより積極的に取り上げて実践的に考えていきたいと思います。NPO法人西東京臨床糖尿病研究会は、医療安全について、多くの先生方から助言を受けられる恵まれた環境にあります。今後は、施設の枠を越えて、よりシステムティックな取り組みができれば良いと考えています。

特別講演は、「世界一受けたい授業」でお馴染みの芳賀繁氏でした。講演中の一コマで、ひらがなの「お」という字を急いでたくさん書いてみたところ、20個目位でつい「あ」と書いてしまいました。これは『慣れた動作』の記憶が間違っ呼び起こされたものでした。その他にも、確実に覚えていたつもりでも実は間違えていたことが多く、ヒューマンエラーの心理的背景要因をふまえた社会心理学的アプローチの重要性が理解できました。

[次ページへ続く→](#)

前ページより→ また、禁止することばかりの対策は逆効果であり、①仕事の社会的意義を考え、②仕事を誇りに思い、③仕事を楽しめることなどにより、安全への動機づけを高める必要があるということがとても印象に残りました。

会場の近くには、おいしいケーキのお店や、植物公園などもあり休憩時間も大変有意義に過ごすことができました。

学会に参加する折には、プログラムチェックと同じくらい、周辺情報のチェックも超重要！です。



研究会等の実施報告

・ 第3回糖尿病予防講演会

平成18年10月14日（土）前進座劇場において開催されました。

特別講演に、東京女子医科大学糖尿病センター眼科教授 北野 滋彦先生をお迎えし、『「合併症になってももう大丈夫？」糖尿病合併症治療の最前線』をテーマに開催いたしました。会場は、ほぼ満席となり、480名の参加者が、終演まで演者の話に熱心に耳を傾けました。また、活発な質疑応答も行われました。参加者の方々にアンケートにお答えいただきましたので、一部ご紹介します。

- ・合併症になってもあきらめないという呼びかけが患者さんにとって、とても心強いメッセージでよいテーマだと思った。
- ・わかりやすかった。いろいろな専門の分野の立場の人からの話が聞けてよかった。
- ・なかなか見れない映像や最先端の治療の話が聞けて勉強になった。
- ・短時間なのにとってもわかりやすく説明していただいた。
- ・（抄録集は）よくまとまっていて、良い資料になります。野菜のレシピもうれしいです。
- ・この度の講演はじめて出席いたしましたが大変良かったと思います。大きなスクリーンで見るのが出来わかりやすかったです。これからも出席しようと思いました。



NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 第40回例会

日 時 : 平成18年11月18日(土)
 開場13:30
 開始14:00~17:25終了

場 所 : 八王子労政会館ホール(定員240名)
 八王子市明神町3-5-1
 JR八王子駅北口下車徒歩10分
 京王八王子駅下車徒歩5分

※駐車場が狭いため、お車での来館はご遠慮願います。

参加費 : NPO法人西東京臨床糖尿病研究会会員 無料
 一般 ¥1,000円

—プログラム—

「もう一度考えよう!患者のもとめる糖尿病治療」



14:00~14:05 開会の辞 当研究会理事長・公立昭和病院 貴田岡 正史

14:05~15:05 第一部特別講演

「患者の思いからスタートする療養指導」

～ナラティブ ベイスト メディシン～

座長 青梅市立総合病院 院長 原 義人
 演者 HECサイエンスクリニック 平尾 節子
 医療コーディネイター

15:05~15:20 一休 憩一

15:20~17:20 第二部講演

「私たちが求める糖尿病治療」

座長 東京医科大学八王子医療センター
 糖尿病・内分泌・代謝内科 大野 敦
 南平眼科内科クリニック 朝比奈 崇介
 演者 IDDM-Network 主宰 能勢 謙介
 元朝日新聞記者 鴨志田 恵一

17:20~17:25 閉会の辞 当研究会理事 高村内科クリニック 高村 宏

日本糖尿病療養指導士認定機構認定更新単位<2群>:1単位申請中
 西東京糖尿病療養指導士認定更新単位:7単位

研究会他のお知らせ

- ・ **第4回症例検討会** ※定員に達した為、受付は終了しております。

症例検討会テーマ

「高齢糖尿病患者の療養指導を考える」

開催日 : 平成18年11月14日(火) 19:00~21:05

場所 : 立川女性総合センター アイム5F 第3学習室

参加費 : 500円

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 2単位

- ・ **NPO法人西東京臨床糖尿病研究会第40回例会**

「もう一度考えよう! 患者が求める糖尿病治療」

開催日 : 平成18年11月18日(土) 14:00~17:25

場所 : 八王子労政会館 (JR八王子駅下車徒歩10分、京王八王子駅下車徒歩5分)

参加費 : 当研究会会員 無料、一般 1,000円

詳細は3ページをご覧ください。

- ・ **第11回糖尿病療養担当者のためのセミナー** ※事前申込みが必要です。

開催日 : 平成18年11月19日(日) 9:50~18:00

場所 : 国士舘大学 多摩キャンパス

参加費 : 4,500円

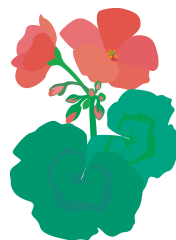
※お申し込み等詳細に関しましては、当研究会HPをご覧ください。

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 5単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 申請中

<事務局よりのお知らせ>

- ・ 2007年に西東京糖尿病療養指導士の認定更新を更新をされる方へ申請の締切りが10月31日(火)となっておりますので、まだご提出いただけない方は、至急事務局までご送付をお願いいたします。
- ・ 毎月第一木曜日 午前10時~午後3時まで当研究会登録管理栄養士による電話ファックス・メールでの無料栄養相談を行っております。会員様施設の患者様にお知らせくださいますよう、ご協力の程お願い申し上げます。



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 栄養相談窓口

TEL/FAX: 042-322-7517 Email: eiyousoudan@nishitokyo-dm.net

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリントプラザ 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net E-mail: w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

受付時間 10:00~16:00